

令和6年度の事業報告書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

特定非営利活動法人

まちづくり機構ユマニテさが

1 事業の成果

中心市街地整備推進機構として発足以来、当法人の基本方針としている（１）住む人を増やす、（２）来る人を増やす、（３）まちづくりに参画する人を増やす、（４）活動の強化、に沿って事業を実施した。

「住む人を増やす」については、平成１２年を底として、中心市街地の定住人口は平成２９年まで毎年度増加し、その後は多少の増減で推移しているが、街の活性化のためにはより多くの定住人口が必要なことから、それに向けた取組を行った。

「来る人を増やす」については、街が賑わうためには、来る人を増やすことが必要であることから、その実現に向けて引き続き集客力の高い取組を行った。遊休不動産の活用に関する事業などを継続的に行い、これらをもとに、情報の提供や街なかでの活動を求める相談者への支援などにつないできた。

「まちづくりに参画する人を増やす」については、より多くの人々がまちづくりに参画すれば、それだけ街に愛着をもってくれる人が増えることにつながることから、自主的にまちづくりに参画する人を増やす取組を行い、次世代の担い手となる若い人材の育成を図った。

「活動の強化」については、自主事業として、共通サービス券事業やえびす駐車場事業等を行った。また、活動基盤の強化に向けて、印刷事業等の強化とともに、会員・理事に情報提供をすることで積極的な参加を促した。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

- ①中心市街地の活性化に関する普及・啓発事業
- ②中心市街地の整備改善に資する建築物等の施設の整備及び管理事業
- ③良好な市街地を形成するためのまちづくりに関する事業
- ④中心市街地の整備改善に関する調査研究事業
- ⑤中心市街地の歴史、伝統、文化、芸能、芸術及び名物の保存・育成を図るための事業
- ⑥中心市街地の環境整備及び環境保全に関する事業
- ⑦中心市街地公共空地の管理事業
- ⑧中心市街地住民の生活の安全と利便性を確保する事業
- ⑨中心市街地の整備改善を図るために有効な土地の取得、管理及び譲渡する事業
- ⑩中心市街地の商業の充実を図るための事業
- ⑪中心市街地の整備改善に関する事業を行う者に対する情報の提供、相談又は援助事業
- ⑫その他定款第3条の目的を達成するために必要な事業

その他の事業

- ①駐車場業

②不動産仲介業

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (千円)
① 中心市街地の活性化に関する普及・啓発事業	街なかかわらばん発行事業 紙媒体(隔月発行)とWEB(ホームページやインスタグラム、フェイスブックページ等)で、店舗情報を中心に、街なかの日常を発信し続けている。メディアの魅力がさらに向上し、市民ライター希望者も増加するなど好調を維持している。またWEBのアクセス数は開設以来、毎年漸増している	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 1人	(D) 中心市街地に関わる者 (E) 不特定多数	2,294
	ホームページ運営事業 ホームページ、フェイスブック、インスタグラムに情報を発信し細かなフォローを実施した。街なかかわらばんとの連携を強化し、アクセス数の向上に努めた。	(A) 通年 (B) 当法人事務所 (C) 2人	(D) 全国のインターネット利用者 (E) 不特定多数	470
	その他の情報発信 ぶんぶんTVの「街なか情報」出演やFM佐賀にイベント情報の告知を依頼する等、広報活動を行った。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 3人	(D) 佐賀市。コミュニティFMは旧市街地・小城地区 (E) 不特定多数	381
	駅前時計台垂れ幕 さが維新広場内の時計台に看板を活用し、中心市街地で開催されるイベント情報を提供した。	(A) 通年 (B) 駅前 (C) 1人	(D) 中心市街地に関わる者 (E) 不特定多数	891
	① 中心市街地の活性化に関する普及・啓発事業 (事業費合計)			4,036
② 中心市街地の整備改善に資する建築物等の施設の整備及び管理事業	街なか遊休不動産活用促進事業 遊休不動産の所有者に対し、その活用に対する意識啓発を図るとともに、その活用促進を行った。 事業者からの相談受付、空き店舗見学会の企画・運営、支援体制の構築・運営等、遊休不動産の発掘・案内等、支援制度にかかる広報・啓発等を行った。	(A) 空き店舗見学会 令和6年5月27日・7月30日・9月30日・11月26日、令和7年1月28日 (B) 中心市街地内 (C) 1人	(D) 物件活用希望者 (E) 24人	2,555

	わいわい!!コンテナ2管理運営事業 「新たなプレイヤーの発掘」と「商店街の回遊性向上」を重視し、マルシェイベントやチャレンジコンテナの事業を通じて、近隣店舗との連携や、新規出店を目指す事業者の支援や発掘につながるよう事業を実施した。また、地元の高校生を交えたワークショップ等を行い、コミュニティ組織の連携及び育成を実施する事ができた。	(A) 通年 (B) 呉服元町 (C) 2 人	(D) コンテナ来場者 (E) 66,258 人	11,777
	街なか交流広場管理事業 佐賀市街なか交流広場(656広場)の指定管理者として施設を管理し、イベント開催等活動促進を図った。コロナ禍前の稼働状況に回復した。	(A) 通年 (B) 呉服元町 (C) 3 人	(D) 広場の利用者及び観客 (E) 32,752 人	5,130
	佐賀商工ビル管理事業 佐賀商工ビルの運営管理をユマニテさがのスタッフが一部担うことにより、街づくりの連携強化を図った。	(A) 通年 (B) 白山二丁目 (C) 1 人	(D) 市民 (E) 不特定多数	3,318
	② 中心市街地の整備改善に資する建築物等の施設の整備及び管理事業			22,780
③ 良好な市街地を形成するためのまちづくりに関する事業	共通駐車サービス券事業 中心市街地内の35か所の駐車場と契約し、サービス券登録の商店で買物した客の駐車利便性を向上させるため事業を実施した。	(A) 通年 (B) 中心市街地 (C) 2 人	(D) サービス券利用登録店舗での利用客 (E) 不特定多数	2,786
	③ 良好な市街地を形成するためのまちづくりに関する事業			2,786
④ 中心市街地の整備改善に関する調査研究事業	未実施			
	④ 中心市街地の整備改善に関する調査研究事業			
⑤ 中心市街地の歴史、伝統、文化、芸能、芸術及び名物の保存・育成を図るための事業	バルーンフェスタ・サテライトイベント 佐賀インターナショナルバルーンフェスタの賑わいを街なかへ呼び込むイベントとして開催。大雨の影響により、バルーンフェスタのイベントが中止となり、サテライトイベントも一部イベントを中止したが、ほとんどのイベントを予定どおり実施することができた。例年より多い来場者数となり、街なかへの誘引につながることができた。	(A) 令和6年10月31日～11月4日 (B) 656 広場、新馬場通り芝生広場 (C) 3 人	(D) 来場者 (E) 6,600 人	1,782

	BOOK マルシェさが事業 本を媒介にした人と人の出会い、本の楽しさ面白さを発見することによる文化の底上げを図った。 トークショーや一箱古本市、ビブリオバトル、おはなし会などを実施した。 地元で開催のイベント「呉服元町 HALLOWEEN」と同時開催し、より広い層の来客があり、相乗効果がえられた。	(A) 令和 6 年 10 月 26 日、27 日 (B) 656 広場、呉服元町周辺 (C) 5 人	(D) 出店者・来店者 (E) 1, 100 人	2,603
	佐賀城下ひなまつり賑わいづくりイベント 街なかの賑わいづくりを目的に、佐賀城下ひなまつりの開催(令和 7 年 2 月 8 日～3 月 9 日)に合わせて、中心市街地のエリア内でイベントを開催した。	(A) 令和 7 年 2 月 8 日・16 日・24 日、3 月 9 日 (B) 656 広場 (C) 4 人	(D) 来訪者 (E) 2,147 人	2,280
	ほとめきぶらり旅 佐賀の街なかで活動するプレイヤーの発掘や街なかへの誘客につなげることを目的に、街なかを散策し佐賀の街なかの魅力(人、街並み、歴史、お店、グルメ)を知ってもらう機会を提供した。	(A) 令和 7 年 3 月 16 日 (B) 中心市街地内 (C) 2 名	(D) 県内外の応募者 (E) 19 人	1,098
	⑤ 中心市街地の歴史伝統、文化、芸能、芸術及び名物の保存・育成を図るための事業			7,763
⑥ 中心市街地の環境整備及び環境保全に関する事業	未実施			
	⑥ 中心市街地の環境整備及び環境保全に関する事業			
⑦ 中心市街地公共空地等の管理事業	656広場横芝生広場管理 旧オギハラ跡の芝生広場を656広場利用者の駐輪場として管理した。	(A) 通年 (B) 呉服元町656広場南側 (C) 1 人	(D) 地域住民及び656広場利用者 (E) 不特定多数	428
	⑦ 中心市街地公共空地等の管理事業			428
⑧ 中心市街地住民の生活の安全と利便性を確保する事業	未実施			
	⑧ 中心市街地住民の生活の安全と利便性を確保する事業			

⑨ 中心市街地の整備改善を図るために有効な土地の取得、管理及譲渡する事業	未実施			
	⑨ 中心市街地の整備改善を図るために有効な土地の取得、管理及譲渡する事業			
⑩ 中心市街地の商業の充実を図るための事業	得するまちのゼミナール 通算で 10 回目のとなる事業で、個店の魅力向上、新規顧客の獲得、店舗同士の連携が図られるよう事業を実施した。 商業者が講師となって、専門知識やプロならではのコツ等を無料で提供する少人数制の講座を実施した。	(A) 店舗向けミーティング 令和 6 年 7 月 23 日 直前説明会 令和 6 年 9 月 5 日 ゼミ開催 令和 6 年 9 月 28 日～10 月 26 日 結果報告会 令和 6 年 12 月 18 日 (B) 佐賀商工ビル、中心市街地 (C) 1 人	(D) 地域住民及び来街者 (E) 160 人	1,397
	エスプラッツ誕生祭 佐賀城下栄の国まつりの開催に合わせて、エスプラッツビルの再開を記念して実施している恒例イベント。	(A) 令和 8 年 8 月 3 日・4 日 (B) エスプラッツビルとその周辺 (C) 4 人	(D) 地域住民及び来街者 (E) 8, 300 人	1,370
	第18 回桶の杜手づくり市事業 全国の手づくり作家が集まる手づくりアートフェスタ。ひなまつりイベントにあわせて開催し、街なかの回遊性向上につながった。	(A) 令和 7 年 3 月 8 日・9 日 (B) 龍造寺八幡宮境内 (C) 6 人	(D) 出店数、来訪者 (E) 63 点 2,576 人	2,604
	戦略的商機能等集積支援事業 商業施設を中心市街地に呼び戻すため、出店意欲が旺盛な希望者が、出店できない状況を支援するため補助や支援をおこなった。今年度は 1 件の事業者を支援した。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 1 人	(D) 中心市街地で出店を希望する者 (E) 不特定多数	2,029
	街なか出店伴走支援事業 商店主向けのスタートアップ支援事業。中心市街地の空き店舗で販売を実践しながら毎月の経営支援プログラムを受講させ独り立ちを支援した。	(A) 通年 (B) 佐賀市白山 (C) 1 人	(D) 県内外の新規起業を志す未経験又は経験の浅い商業者 (E) 支援対象の出店者 4 店舗	2,374

	佐賀市街なか交流広場活用事業 市民が街なかへ訪れるきっかけをつくり、街なかへの新たな来訪者の発掘につながるよう、佐賀市街なか交流広場(656広場)を活用したイベントを開催した。	(A)令和7年2月9日 (B)656 広場 (C)1人	(D) 来場者 (E) 400 人	755
	バル WEEK さが2025 中心市街地の飲食店の食べ歩き・飲み歩きイベント。参加店の新規開拓に寄与するとともに、街なかの活性化を進めることが狙い。参加店一店舗あたりの経済効果、参加店の機運、事務局運営の効率化をそれぞれ高めることができた。	(A) 令和7年2月25日～3月10日 (B) 中心市街地内 (C) 1 人	(D) 市民 (E) パスポート販売冊数 815 冊	801
	さが銀天夜市協賛事業 商店街の恒例イベントで、主に銀天夜市期間中に656広場で実施するイベントの企画実施や協力支援を行った。	(A) 令和6年7月6日から8月3日までの土曜日 (B) 656 広場 (C) 1 人	(D) 市民 (E) 4,300 人	715
	エビスビアパーティー ビアガーデンスタイルスタイルのイベントを開催し、街なかへの誘客効果を上げる事ができた。	(A) 令和6年7月24日 (B) 656 広場 (C) 5 人	(D) 市民 (E) 来場数 350 人	1,697
	中央大通り賑わい創出活動支援事業 中央大通りエリアの日常的かつ継続的な賑わい創出に寄与するイベント等を開催する主体を支援することにより、主体的に活動するプレイヤーを増やし、中央大通りエリア及び中心市街地の活性化を図ることを目的として、実施団体等への補助、支援を行った。	①SAKENOWA～佐賀酒と音楽～ (A)令和6年9月16日 (B)唐人町緑道広場、佐賀駅前交流広場 (C)オト酒店 ②ストリート音楽祭 (A)令和6年10月13日、11月8日・15日・22日 (B)佐賀市中央大通り各所(アリエスビル、唐人町まちかど広場、ランパーダ、小宮テント、マッケローニ、エッジ国際美容専門学校) (C)唐人町商店街振興組合 ③大学生と佐賀の伝統文化を学び、クリークで遊ぼう (A)令和6年8月24日 (B)佐賀バルーンミ	(D) 市民 (E) 参加者 ①500 人 ②800 人 ③ 60 人	2,057

		ユージアムレクチャールーム (C) KAWADOKO プロジェクト		
	学生チャレンジマルシェ事業 佐賀市を中心とした県内の学生の学外活動を支援し、生産物等の販売会を開催した。	(A) 令和6年4月27日、10月27日、1月18日 (B) 佐賀玉屋、656広場、わいわい！！コンテナ2 (C) 1人	(D) 佐賀県立高志館高等学校、佐賀県立伊万里実業高校、西九州大学佐賀調理製菓専門学校 (E) 1,200人	45
	街なかリーディング SAGA アリーナにイベント参加者に対して街なかの駐車場を無料開放する事でイベント前後での街なかの消費・回遊を楽しんでもらう賑わい効果を検証した。	(A) 令和6年4月13日から令和7年3月16日までの期間のうち37日 (B) 中心市街地内 (C) 2名	(D) 県内外の駐車場利用者と中心市街地内のサガマチランデブー参加店 (E) 3,839人	6,021
	⑩中心市街地の商業の充実を図るための事業			21,865
⑪中心市街地の整備改善に関する事業を行う者に対する情報の提供、相談又は援助事業	古賀ビル管理事業 佐賀県が進める「地方創生事業」の一環として「デジタル・ハリウッド」がオープンした。当法人はオーナーから物件を借り、転貸を実施している。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 中心市街地に出店を考える商業者及び建物所有者 (E) IT技術を習得したい不特定多数	2,025
	⑪中心市街地の整備改善に関する事業を行う者に対する情報の提供、相談又は援助事業			2,025
⑫その他定款第3条の目的を達成するために必要な事業	のまん缶太事業 飲料水の街づくり支援自動販売機を設置し、来街者の利便性向上を図った。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 市民 (E) 不特定多数の購買者	954
	本部会計事務費 人件費や租税公課、交際費等NP〇の活動に必要な補助的経費の管理を行った。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 1人	(D) 市民 (E) 不特定多数	149
	⑫その他第3条の目的を達成するために必要な事業			1,103

(2)その他の事業

事業名 (定款に記載した 事業)	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者数	支出額 (千円)
① 駐車場業	えびす駐車場事業 駐車場を経営し、来街者の利便性、快適性を高め、サービスの向上を図るとともに、得られた収益を特定非営利活動費に充当する。	(A) 通年 (B) 松原一丁目 (C) 2人	15,829
	佐野駐車場事業 駐車場を経営し、来街者の利便性、快適性を高め、サービスの向上を図るとともに、得られた収益を特定非営利活動費に充当する。	(A) 通年 (B) 松原二丁目 (C) 1人	1,440
	① 駐車場業		17,269
② 不動産仲介 事業	未実施		